

## 第4回 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議 議事要旨

日時：令和6年6月18日（火）15:00～17:00

場所：(株)リクルート 39階3901会議室（グラントウキョウサウスタワー内）

出席者（敬称略）：

公益社団法人日本観光振興協会総合研究所 顧問 丁野 朗

株式会社リクルート 地域創造部 部長 高橋 佑司

株式会社三菱総合研究所 主席研究員 宮崎 俊哉

跡見学園女子大学 兼任講師 山崎 まゆみ

足立成和信用金庫 理事長 土屋 武司

一般社団法人 ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構 相談役 岡村 清二

関東運輸局 局長 勝山 潔

関東運輸局観光部 部長 近藤 光則

### 議題：

- (1) 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱の改正について
- (2) 令和5年度会議の振り返りについて
- (3) プロジェクトの取組状況について
- (4) プロジェクトの今後の方向性について

### 議事要旨：

#### (1) 江戸街道プロジェクトアドバイザー会議要綱の改正について

- ・異議なし
- ・座長に丁野委員を推薦、承認

#### (2) 令和5年度会議の振り返りについて

- ・関東運輸局から、前回までの会議で出た意見に対する対応方針を説明

#### (3) プロジェクトの取組状況について

- ・関東運輸局から、現在の取組状況について説明

#### (4) プロジェクトの今後の方向性について

- ・関東運輸局から、今年度以降の目標設定について説明

(各委員からの意見)

### 【令和5年度会議の振り返りに関するご意見】

- ・ 共通認識として、江戸街道プロジェクトがどういうものかを分かりやすい言葉で整理し、プロジェクト参加者向けと旅行者向けそれぞれに対するブランディングを行っていく必要がある。
- ・ アドバイザリー会議でやってきた効果や進捗等を対応方針に加えて表現すれば、今までの動きや最終年度でやるべき内容が見えてくるのではないか。
- ・ 江戸料理については関東運輸局が認定や認証をするということではなく、江戸料理や江戸文化など体験可能なお店を江戸街道プロジェクト協賛店などとして広く募ってはどうか。

### 【取組状況に関するご意見】

- ・ イベントの場などで、街道関係の事業者が集まってもらうような場をつくれないうか。
- ・ 温泉街道を江戸街道プロジェクト派生の事業と言えるような分かりやすい仕組みが欲しい。
- ・ プロジェクト自体を運営する側の事業目的は、関東エリアの地域連携の入り口としての江戸街道であり、「街道」に重きを置くことにより、より多くのテーマ街道が作り出される。どこが江戸街道か厳密な議論は必要なく、事業の本来の目的に立ち返ることも必要ではないか。
- ・ 事業目的と一般の方々へのアピール（ブランド：こう思われたい姿）、地域の皆さんに頑張ってもらうためのアピール（メリット）とは、分けて考えるとよいのではないか。
- ・ プラットフォームについて目的を明確にしたうえで、要不要を取捨選択し、既存の仕組みで代替可能なものと一から構築するものの区分けをした方がよい。
- ・ プラットフォームについて、令和6年度は何をやるのか。令和6年度に動く人たちを巻き込んで情報共有し、いろんなアイデア等を持ち寄るようなことができるようにしてはどうか。サイトを運営する側、サイトに参加する事業者のメリットを示せるような試行を今年度行った方がよいのではないか。

### 【今後の方向性に関するご意見】

- ・ KGI を置かずに KPI だけということだが、KGI を起点としたロジックツリーを踏まえないと、KPI は決められない。江戸街道プロジェクトが目指すものの実現に向けたロジックツリーを作成する必要がある。
- ・ 広域連携数を KPI とするのであれば、広域連携として何をやっていけばカウントできるのか整理しておく必要がある。一方、広域に限る必要はなく、隣近所で連携が進むといったことも大事ではないか。
- ・ 観光客数を増やし、地域消費をきちんと高め、連携するということが大事なポイントではないか。
- ・ 江戸街道プロジェクトに参画するメリットを明示するとよいのではないか。
- ・ 令和6年度のうち、事業に参加しているみなさんにメリットを実感してもらうことが必要、そのための仕掛けを動かす必要があるのではないか。
- ・ 補助事業は成果として消費してもらってこそその地域連携になると思うので、つくっている最中からプロモーションも意識し、マスメディアの方と協働しながらつくり上げていくことが重要。